

中国が、ゼロコロナ政策をやめた途端、新型コロナウイルス感染が瞬く間に蔓延、1か月ほどで14億人の人口のうち11億人以上が感染した模様です。ものすごい感染力がある事が改めてはっきりしました。一方、日本では5月8日から、現在の感染症法上の2類から5類相当の感染症として扱いを変えることが決まりました。対応を変えてしばらくの間は、感染が拡大することでしょう(中国同様検査をしなくなり実態が分からなくなるかもしれませんが)。前号でも述べましたが、一般の方はコロナ対応を不要とし、病院・医療関係者は“ゼロコロナ”を継続させるようなことになれば、病院・医療関係者が今以上に疲弊するものと強く憂慮しています。



当院では、新型コロナウイルス感染症の(国の)取り扱いの変革に対応するため、現在、3階南病棟の改修工事を行っています(写真上;写真左奥が改修工事関係者の出入り口となっています)。もともと3階南病棟は、産婦人科の入院機能を持っており、分娩室・新生児室などがありました。残念なことに、平成26年3月以降当院で分娩の取り扱いを中止し、今後も再開は不可能の状況で、それらの部屋は使われないデッドスペースとなっていました。今回その場所を病室に改装し、今後はアフターコロナに向けて療養環境の充実に取り組んでいく予定です。

この1月24日から10年に一度の(毎年聞いているようですが)寒波が襲い、以降降雪が続いて

います。前号でも報告したように、病院の駐輪場の移設等などにより、駐車場に26台分のスペースを増設し、多少とも患者さんの駐車場不足に対応できたものと思っています。

さて一方、当病院の病院長室等がある健診棟2階は、建設時に予算を削減したこともあり、全館暖房がなく、かつ各々のエアコンの暖房が止まったり(“霜取り”と表示され冷気が送風されます)して、すごく寒くなります。自分の健康管理のためにも何とかしたいものですが……。



写真上;健診棟2階の渡り廊下。石油ファンヒータを動かしていますが、まさに“焼け石に水”

今年度いっぱいでも長らく当院健診センター長を務めていただいていた齋藤六温先生が退職されます、誠にありがとうございました。後任には、現在副院長の富山武美先生がセンター長に就任され、斎藤 睦先生が週4回健診センターに勤務されます。今後とも地域の皆様方の健康維持に貢献できるよう頑張ります。

さらに今年4月から、消化器外科に、現在新潟県立加茂病院に勤務されている竹石利之先生が当院に赴任されます。消化器外科医師3名体制を維持し、さらにパワーアップすることが期待されます。皆様方もよろしくお祈りします。

発行責任者・文責;豊栄病院病院長 宮島 透